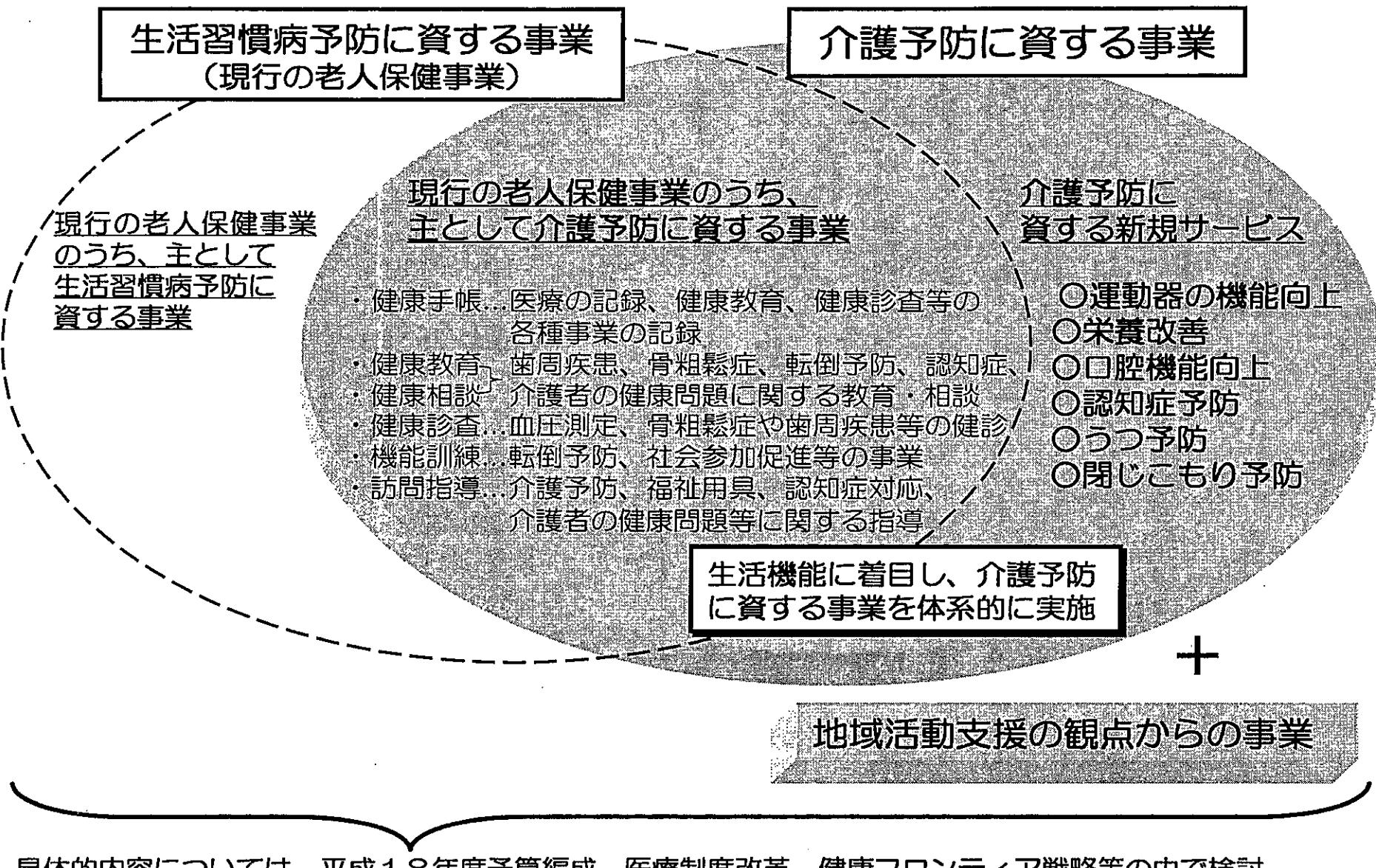


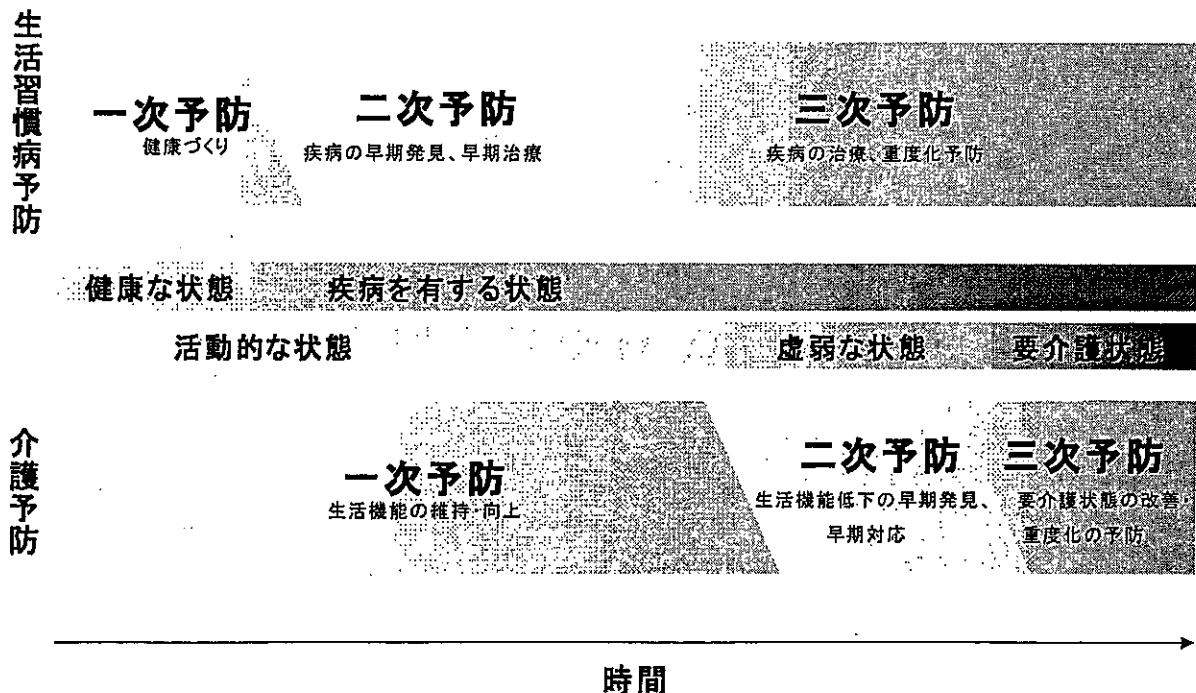
老人保健事業の見直し後のイメージ



介護予防における地域支援事業の位置付け

- 生活機能の低下の予防、維持・向上に着目して、介護予防の取組を一次予防、二次予防、三次予防に整理。
- 地域支援事業では、主として介護予防の一次予防及び二次予防の取組を実施。(三次予防は新予防給付)
- 生活習慣病予防と介護予防は相互に関係していることから、地域支援事業の実施に当たっては、生活習慣病予防との密接な連携の下で実施。(例 生活習慣病予防の二次予防の取組(健康診査等)と介護予防の一次予防の取組(生活機能の維持・向上)の連携 等)

生活習慣病予防及び介護予防の「予防」の段階



従来は、「健康な 65 歳」を目標として生活習慣病予防中心の取組を実施してきたが、今後は、新たな目標である「活動的な 85 歳」を目指して、生活習慣病予防・介護予防の連携による取組を実施。

出典：生活習慣病予防と介護予防の新たな展開に向けて（老人保健事業の見直しに関する検討会中間報告）（平成 16 年 10 月）

注)一般的なイメージであって、疾病の特性等に応じて上記に該当しない場合がある。